

— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。 —

使用上の注意改訂のお知らせ

2023年10月

製造販売元



日新製薬株式会社

山形県天童市清池東二丁目3番1号

強心・喘息治療剤

日本薬局方 アミノフィリン注射液

アミノフィリン 静注250mg「日新」

アミノフィリン 静注250mg PB「日新」

処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

この度、標記製品の「使用上の注意」を下記のとおり改訂致しますのでご案内申し上げます。
併せて、医療用医薬品の添付文書の記載要領改定に伴う変更を行いました。
ご使用に際しましては下記の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

改訂内容（部：追記）

改訂後	改訂前						
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 本剤又は他のキサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴のある患者</p> <p>2.2 12時間以内にアデノシン（アデノスキャン）を使用する患者[10.1参照]</p>	<p>【禁忌（次の患者には投与しないこと）】</p> <p>本剤又は他のキサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴のある患者</p>						
<p>10. 相互作用 現行のとおり</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>アデノシン （アデノスキャン） [2.2参照]</td><td>本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。</td><td>本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アデノシン （アデノスキャン） [2.2参照]	本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。	本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。	<p>【使用上の注意】</p> <p>3. 相互作用 省略</p> <p>← 新設</p>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
アデノシン （アデノスキャン） [2.2参照]	本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。	本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。					

改訂理由

◆自主改訂

今回の改訂内容は、日本製薬団体連合会発行 医薬品安全対策情報(DSU No.321 2023年11月)に掲載される予定です。
最新の電子添文は、PMDA HP「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>) および
弊社 HP (<https://www.yg-nissin.co.jp/>) に掲載致します。
また、電子添文閲覧アプリ「添文ナビ」を用いて以下のGS1バーコードを読み取ることで電子添文をご覧いただくことが可能です。

アミノフィリン静注250mg「日新」



(01)14987447204228

アミノフィリン静注250mgPB「日新」



(01)14987447521226